

令和3年度 琴浦町総合計画策定に係る住民アンケート結果

(1) 目的

本アンケート調査は、町民の意識やまちづくりに対する意向などを把握し、新たな琴浦町総合計画策定に関する計画課題と施策展望などについて検討するために実施したものです。

(2) 調査の実施概要

○調査方法

住民基本台帳から無作為抽出による郵送配布・郵送回収2,000人を対象に実施

○調査対象者

琴浦町在住の18歳以上の町民

○調査時期

令和3年6月25日～7月26日

○回答数

447人(22.4%)

(3) アンケート調査内容

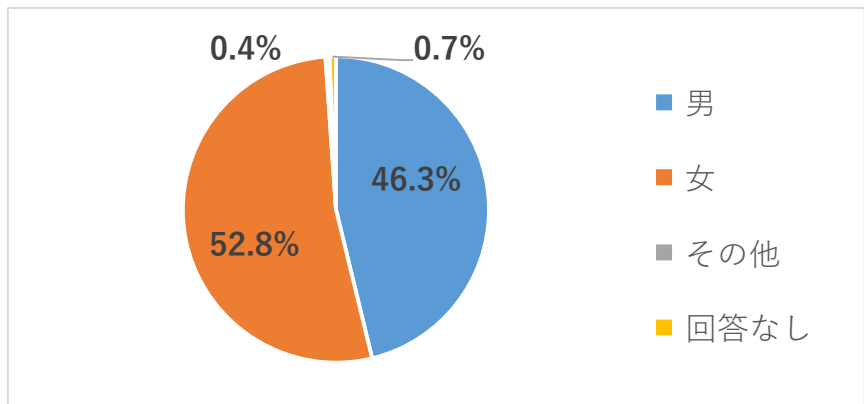
- ①個人属性の把握
- ②琴浦町での暮らしに関する満足度と暮らしにおける重要度
- ③琴浦町に関する情報収集の手段
- ④琴浦町の取組みについて
- ⑤琴浦町での居留意向について
- ⑥10年後の理想の琴浦町について
- ⑦<子育て予定の方向け>子育ての意向について
- ⑧<家族に学生がいる方向け>学生の今後の居留意向
- ⑨<I・J・Uターン者向け>琴浦町に対しての意見

1 回答者数

実施年度	回答数	回答率(%)
R3	447	22.4
H28	557	27.9
H23	739	37.0

アンケート回収率を過去10年分と比較すると、平成23年には37%回答があったが、平成28年から3割を切り、今回は約22%の回答になった。

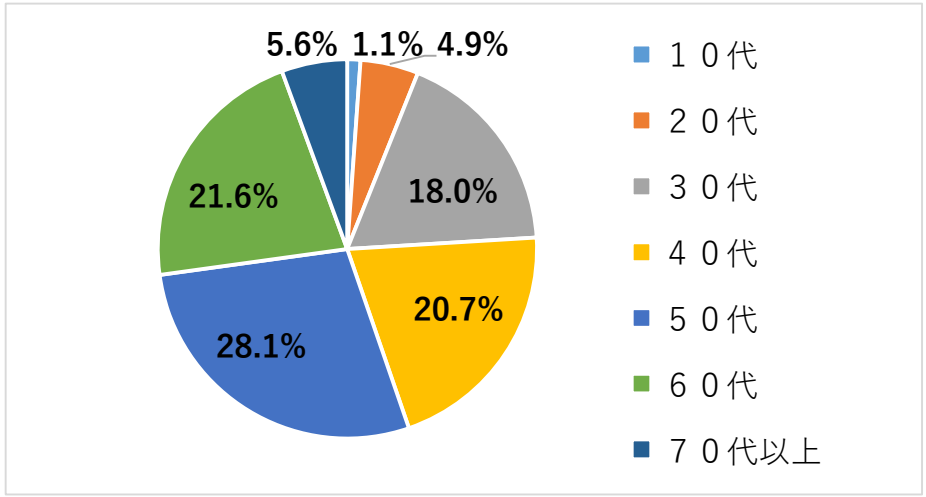
2 性別



性別	送付数	回答数	回答率(%)
男	1008	207	20.5
女	992	236	23.7
その他 または回答なし	-	4	-

回答者の内訳を見ると女性が52.7%、男性は46.2%でその差は6.5%となる。その他の回答者と回答なしを合わせると全体の0.1%である。送付人数から見ると、女性、男性どちら回収率は25%未満であった。

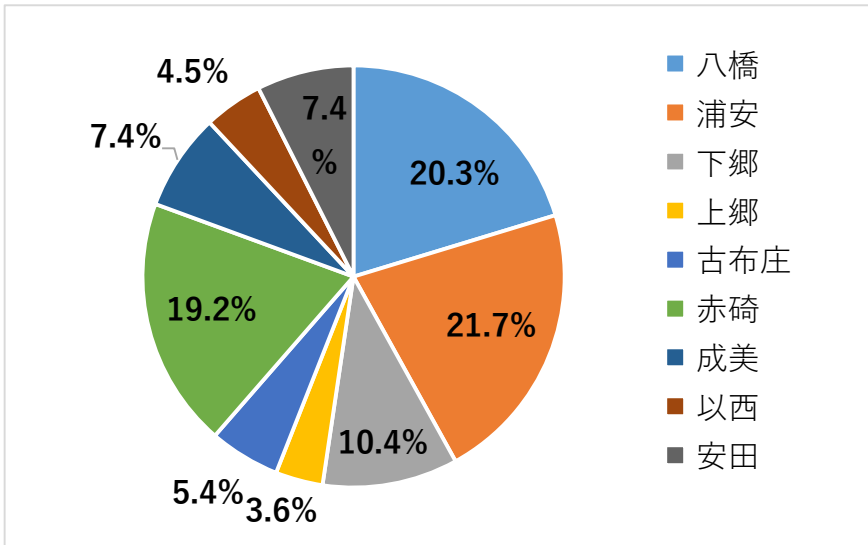
3 年齢



年代	送付数	回答数	回答率(%)
10代・20代	202	27	13.3
30代	395	80	20.2
40代	506	92	18.1
50代	498	125	25.1
60代	298	96	32.2
70代以上	101	25	24.7

年代別で見ると、30代・40代・60代がそれぞれ全体の20%前後を占め、50代が30%弱を占めている。回収率は、60代が最も高く32%。続いて50代・70代以上が25%、30代は20%である。一方で40代は20%を下回っている。10代・20代が最も低く、13%に留まっている。

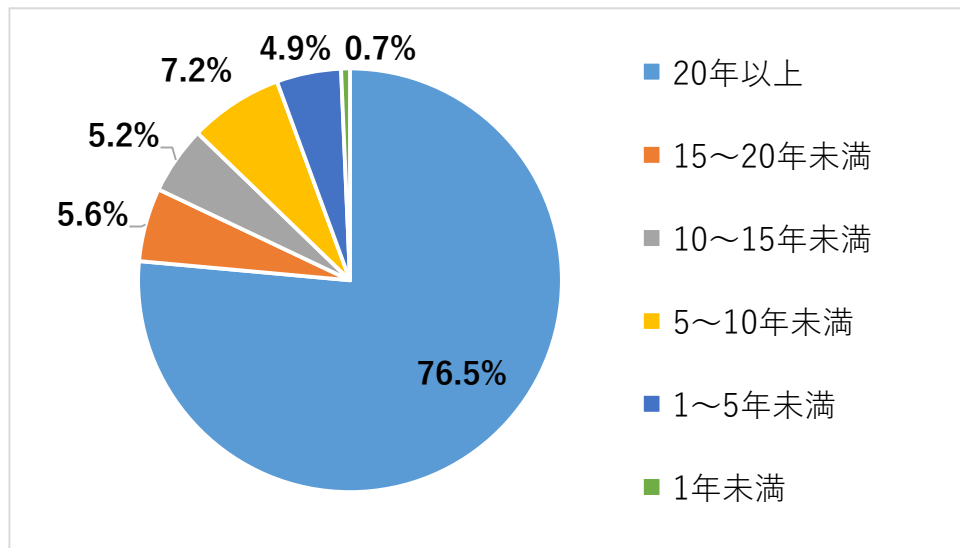
4 居住地区



地区名	送付数	回答数	回答率(%)
八橋	441	90	20.4
浦安	460	96	20.9
下郷	190	46	24.2
上郷	47	16	34.0
古布庄	85	24	28.2
赤碕	407	85	20.9
成美	170	33	19.4
以西	77	20	26.0
安田	123	33	26.8
回答なし	-	4	-

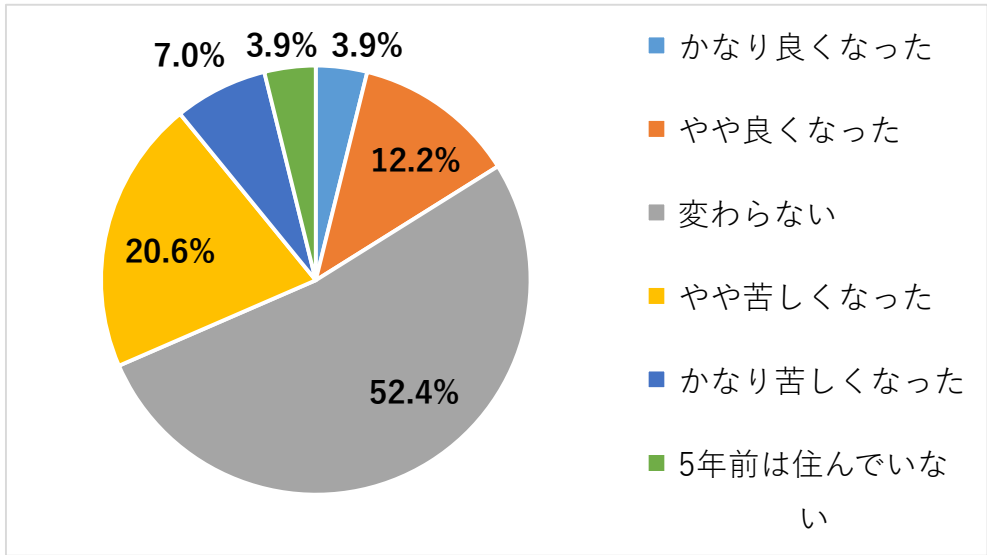
回答者全体では浦安地区の回答者数が最も多いが、各地区への送付人数に対する回答率の結果で見ると、上郷地区が34%と最も回答率が高く、次いで古布庄地区が高い。

5 町内在住歴



回答者の76.5%が20年以上の居住歴がある。アンケートを送付している2,000名の居住歴が不明のため、居住歴ごとの回答率は不明。

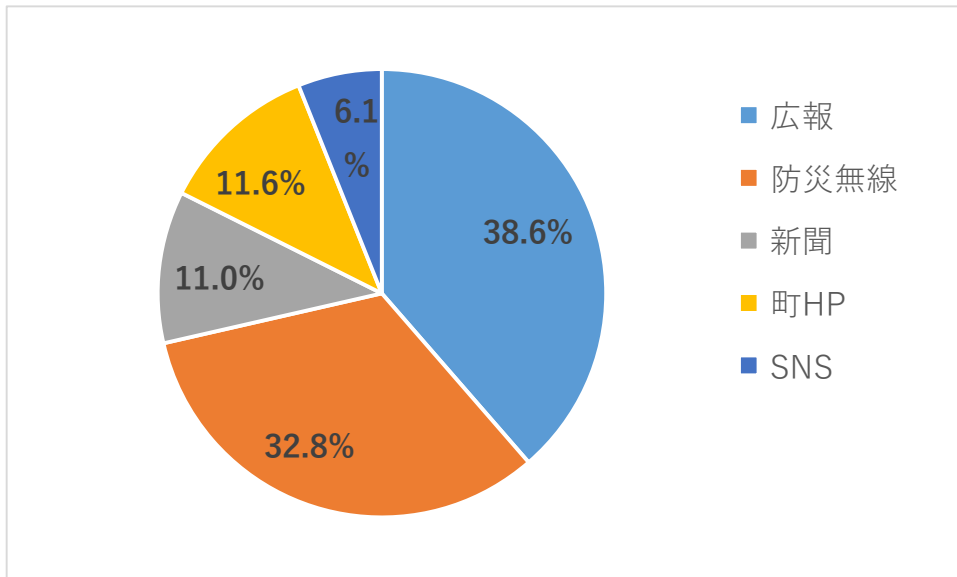
6 5年前と比べて、生活の様子の変化について



5年前から生活の様子は	R3	H28	H23
かなり良くなった	3.9%	4.6%	3.8%
やや良くなった	12.2%	12.8%	10.5%
変わらない	52.4%	45.9%	39.1%
やや悪くなった	20.6%	25.7%	29.4%
かなり悪くなった	7.0%	5.8%	14.1%
5年前は住んでいない	3.9%	5.3%	3.0%

5年前から生活の様子が「変わらない」の回答者が半数を占めており、次いで「やや悪くなった」の回答率が高くなっている。一方で、過去の回答と比較すると、H28からR3年にかけて「かなり良くなった」または「やや良くなった」と回答した人数の割合が1.2%減少し、5年前から「変わらない」の回答率は6.5%増加している。また、「やや悪くなった」の回答率は5.1%減少しているが、「かなり悪くなった」の回答率は1.2%増加している。

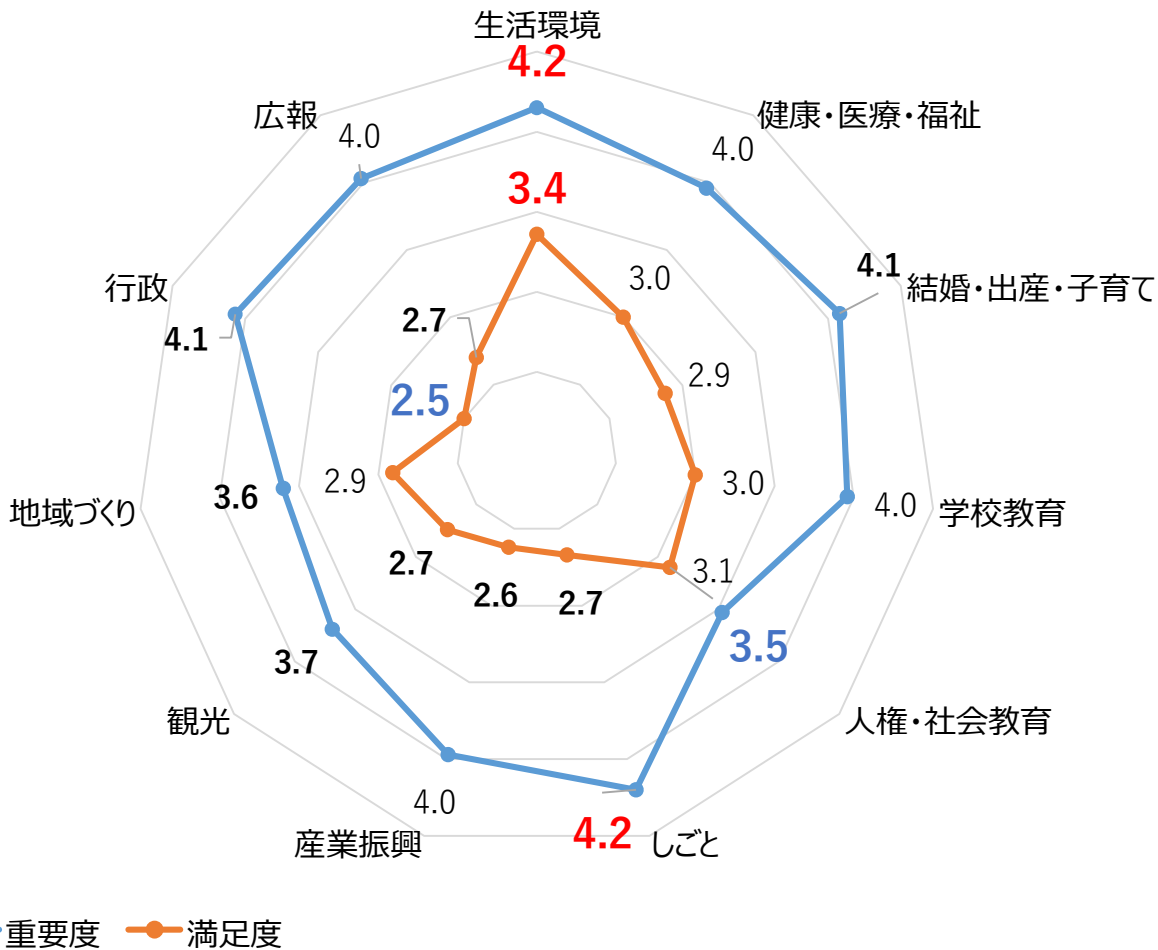
7 琴浦町に関する情報の入手手段



※該当する項目を全て選択できる質問。
情報の入手手段として、毎月町が制作している広報誌の約39%が最も高く、次いで防災無線が選ばれている。一方でHPやSNSからの入手率は低い。
その他の回答には、TCCの回答が12件、議会だよりや観光協会だよりといった回答があった。

8 琴浦町の暮らしにおける重要度・満足度（政策分野ごとの総括）

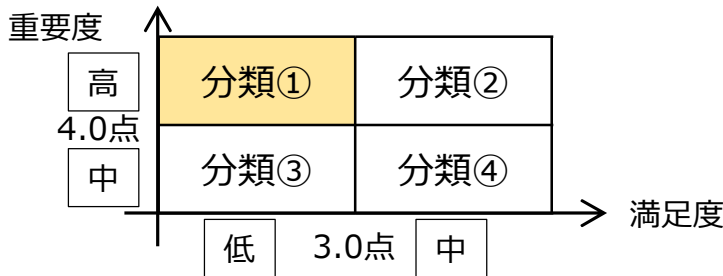
- 町の取り組みについて重要度・満足度のそれぞれで5段階評価
- 重要度〔5：重要である 4：やや重要である 3：普通 2：あまり重要でない 1：重要でない〕
- 満足度〔5：満足 4：やや満足 3：普通 2：やや不満 1：不満〕



- 町の取り組みを政策分野ごとに区分し、重要度と満足度について5段階の評価を行った。
- 重要度については、各分野において総じて高い結果となっている。その中でも特に「生活環境」「しごと」「結婚・出産・子育て」「行政」分野について、町民は重要視していることが分かる。
- 一方、「人権教育・社会教育」「観光」「地域づくり」については重要度が低い結果となっている。
- また、満足度については、全体的に低い傾向となっている。その中でも「生活環境」「健康・医療・福祉」「学校教育」「人権教育・社会教育」分野については満足度が高く、「しごと」「産業振興」「観光」「行政」「広報」分野は満足度が低い。
- 重要度から満足度を差し引いた値（乖離）が最も大きいのは「行政」分野となっており、町民の求める行政運営のため、より一層努力していく必要がある。

8 琴浦町の暮らしにおける重要度・満足度

- ・ 分類①に該当する取組み
- ・ 重要度 = 高 (4.0点以上) かつ 満足度 = 低 (3.0点未満)
- ・ 施策の重要度と満足度に乖離がある項目
- ・ 優先して満足度を向上させるための改善策について検討が必要な項目



R3分類	分野	項目	重要度	満足度	H28分類
① 重要度 = 高 (4.0以上) 満足度 = 低 (3.0未満)	健康・医療・福祉	障がい者（児）が不便なく生活できる環境にある	4.2	2.7	①
	健康・医療・福祉	生活困窮者への支援が行き届いている	4.0	2.8	-
	健康・医療・福祉	介護や福祉医療業界の従事者へ支援がされている	4.1	2.8	②
	健康・医療・福祉	年齢や身体の不自由などに関係なくみんながいきいきと暮らせるまちである	4.1	2.8	④
	結婚・出産・子育て	出産を希望する夫婦への支援がある	4.2	2.9	①
	学校教育	いじめや不登校への支援があるなど安心して学べる学校教育環境がある	4.3	2.7	②
	しごと	生活するための安定した収入がある	4.4	2.8	①
	しごと	就きたいと思えるしごとがある	4.2	2.5	①
	しごと	年齢に関係なく、働きやすいまちである	4.1	2.6	-
	しごと	子育てをしながら働き続けられる職場環境がある	4.3	2.8	①
	産業振興	商工業の振興により、まちに活気がある	4.0	2.4	③
	産業振興	町内のしごとに就こうとする若者が増えた	4.2	2.2	①
	行政	町民が行政に意見・提言できる機会がある	4.0	2.7	①
	行政	町の取り組みは住民の意向にそっている	4.1	2.4	①
広報	町の取り組みについて、町からわかりやすく情報発信されている	4.0	2.7	④	

- ・ 介護や福祉分野への支援、出産に関する支援の充実が求められている。
- ・ 安心して学べる学校環境については、町民の満足度は低下した。
- ・ 生活基盤である雇用や職場環境については、重要度と満足度の乖離が大きい項目となっている。
- ・ いつまでも健康でいきいきと暮らせるまちづくりに対する重要度が以前より上昇した。
- ・ 町の行政運営、情報発信については重要と考える人が多い中、満足度が低い結果となっている。特に情報発信については5年前の調査より満足度が低下した。効果的な情報発信について改善が必要と考えられる。

8 琴浦町の暮らしにおける重要度・満足度

- ・ 分類②に該当する取組み
- ・ 重要度 = 高 (4.0点以上) かつ 満足度 = 中 (3.0点以上)
- ・ 重要施策に対して、概ね水準を確保できている項目
- ・ 現状を維持しつつ、更なる向上が可能か検討する項目



R3分類	分野	項目	重要度	満足度	H28分類
② 重要度 = 高 (4.0以上) 満足度 = 中 (3.0以上)	生活環境	町道など生活道路が整備されている	4.2	3.3	②
	生活環境	公共交通機関や自家用車など移動する手段がある	4.3	3.7	①
	生活環境	スーパーや商店があり、買い物に便利である	4.4	3.3	
	生活環境	上水道・下水道の利用に不便がない	4.3	3.8	②
	生活環境	山や海といった自然環境が守られている	4.2	3.6	④
	生活環境	騒音・振動・悪臭などの公害に困っていない	4.1	3.5	②
	生活環境	地域における防犯対策が整っていて安心感がある	4.2	3.2	①
	生活環境	自然災害など防災時に町の対応が早い	4.4	3.1	②
	生活環境	インターネットやケーブルテレビなど情報を受け取る環境が整っている	4.0	3.5	
	生活環境	ごみの収集・リサイクルの対応が十分されている	4.2	3.7	②
	健康・医療・福祉	病院・診療所があり、地域医療が受けやすい	4.4	3.4	②
	健康・医療・福祉	在宅医療や介護に関して相談し、頼れる先がある	4.1	3.2	②
	結婚・出産・子育て	子ども園や放課後児童クラブなど希望する場所に子どもを預けることができる	4.3	3.4	①
	学校教育	文化・芸術・遊びを通して、子どもの興味が引き出せるような学習方法が取り入れられている	4.0	3.0	-

- ・ 上下水道やインターネットなどのインフラ面、防犯や災害など安全に暮らすための生活環境については、日常生活への影響が大きく重要度が高い傾向となっている。一方満足度も高く、琴浦町では満足できる水準が保たれていると考えられる。
- ・ 自然環境の保全について5年前と比較して重要度が向上した。環境に対する町民意識の向上が要因と考えられる。
- ・ こども園などの預け先に関する子育て環境の整備については、5年前と比較して満足度が向上。
- ・ 交通については、多くの町民が自家用車での移動手段に満足している実態が見える。5年前は公共交通の利便性についての設問であり、その時は満足度は低かった。

8 琴浦町の暮らしにおける重要度・満足度

- ・ 分類③に該当する取組み
- ・ 重要度 = 中 (4.0点未満) かつ 満足度 = 低 (3.0点未満)
- ・ 日々の暮らしへ対する直接的な影響が少なく、関心が薄い項目
- ・ 取り組みに対する認知度の引上げと満足度向上の両立が必要な項目

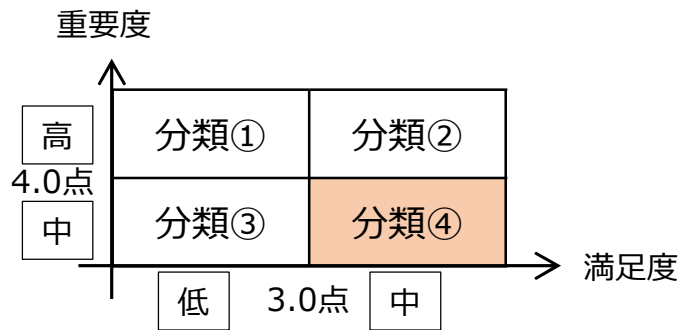


R3分類	分野	項目	重要度	満足度	H28分類
③ 重要度 = 中 (4.0未満) 満足度 = 低 (3.0未満)	生活環境	公園・緑地が整備されていて利用しやすい	3.7	2.8	③
	人権・社会教育	国際交流などを通して国際理解を進める機会がある	3.3	2.8	④
	人権・社会教育	芸術や文化活動に親しむ機会がある	3.4	2.8	④
	結婚・出産・子育て	結婚したいと思える相手に出会える場や機会がある	3.8	2.4	-
	しごと	起業者への支援など起業しやすい環境がある	3.9	2.7	-
	産業振興	一次産業や二次産業のブランド化が進んでいる	3.8	2.9	③
	産業振興	飲食店が多く、気軽に利用できる	3.8	2.8	③
	観光	地域資源が活かされた観光地がある	3.8	2.9	③
	観光	観光客が町内の観光地を様々巡るような仕掛けやプランがあると感じる	3.8	2.7	③
	観光	外国人旅行者を受け入れられる場所が整っている (宿泊施設、観光地など)	3.5	2.4	-
	地域づくり	若者がコミュニティ活動に参加する機会がある	3.6	2.6	-
	広報	琴浦町の魅力が町外にも発信されている	3.9	2.7	④

- ・ 国際交流、文化芸術振興、結婚、起業に対する支援といった対象者が限定されている項目については、他の項目と比較して重要度は低くなっている。
- ・ 琴浦製品のブランド化、観光、町の魅力発信といった外から見た琴浦町を磨き上げる取り組みについては、引き続き振興を図る項目であり、施策に対する周知活動など町民の関心を高めること必要と考えられる。

8 琴浦町の暮らしにおける重要度・満足度

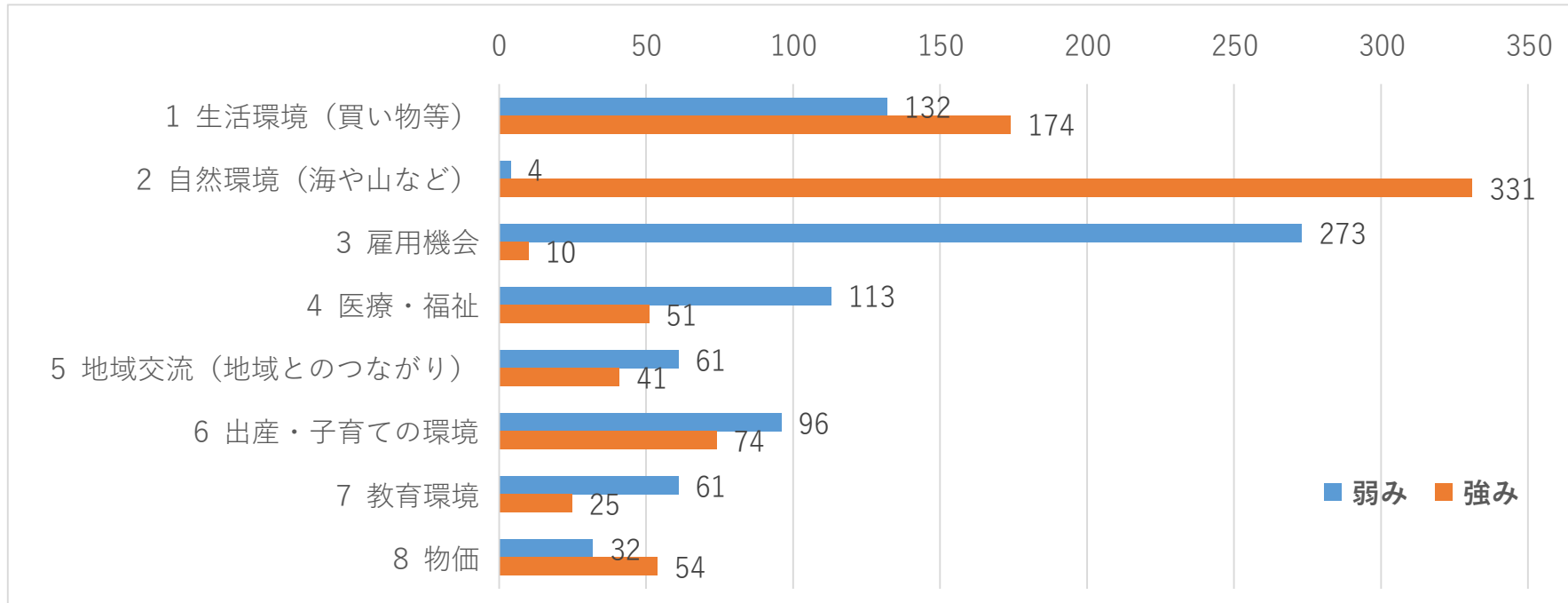
- ・ 分類④に該当する取組み
- ・ 重要度 = 中 (4.0点未満) かつ 満足度 = 中 (3.0点以上)
- ・ 施策の重要度と満足度の乖離が小さい項目
- ・ 過剰な投資となっていないかなど効率化について検討すべき項目
- ・ 現時点での重要度は高くないが、将来的を見据えた政策的視点での選択が必要となる項目



R3分類	分野	項目	重要度	満足度	H28分類
④ 重要度 = 中 (4.0未満) 満足度 = 中 (3.0以上)	生活環境	風力発電、太陽光発電など再生可能エネルギーの活用が進んでいる	3.7	3.0	④
	健康・医療・福祉	スポーツ・レクリエーション活動など健康づくりに気軽に参加できる	3.3	3.1	④
	人権・社会教育	人権や男女共同参画に関する学習の機会がある	3.5	3.1	④
	人権・社会教育	年齢や性別、国籍による偏見を受けない	3.8	3.0	④
	人権・社会教育	図書館や多目的集会所などのコミュニティ施設が気軽に利用できる	3.7	3.3	-
	人権・社会教育	文化財や史跡が伝承・保存されている	3.6	3.3	④
	学校教育	地域や学校、子ども園、保育園で食育について学ぶ機会がある	3.9	3.2	-
	学校教育	琴浦町について学ぶ学習機会があり、ふるさとへの興味や関心が高められている	3.7	3.1	④
	学校教育	ICT教育やオンラインを利用した授業など時代の流れに沿った学習機会がある	3.9	3.2	②
	観光	県内他市町と協力して地元を盛り上げている (中部グルメスタンプラリーなど)	3.7	3.0	③
	地域づくり	高齢者の憩いの場や集まる機会が多い	3.7	3.1	④
	地域づくり	自治会など地域のコミュニティ活動が盛んである	3.5	3.0	④

- ・ 人権教育、社会教育、学校教育など主にひとづくりの分野で満足度が高くなっている。内容の見直しを加えながら継続した取り組みが必要となる項目と考えられる。
- ・ 地域のコミュニティ活動については、活発に活動されていると感じている人が多い中、一方で次世代のリーダーとなる若者の参加機会に関しては満足度は低くなっている。地域づくりの課題として取り組む必要がある。

9 町外から移住者を受け入れるにあたり琴浦町の強みと弱みは何ですか？



※アンケートの回答方法として、同じ項目から強みと弱みをそれぞれ2つ選択するようにしている。

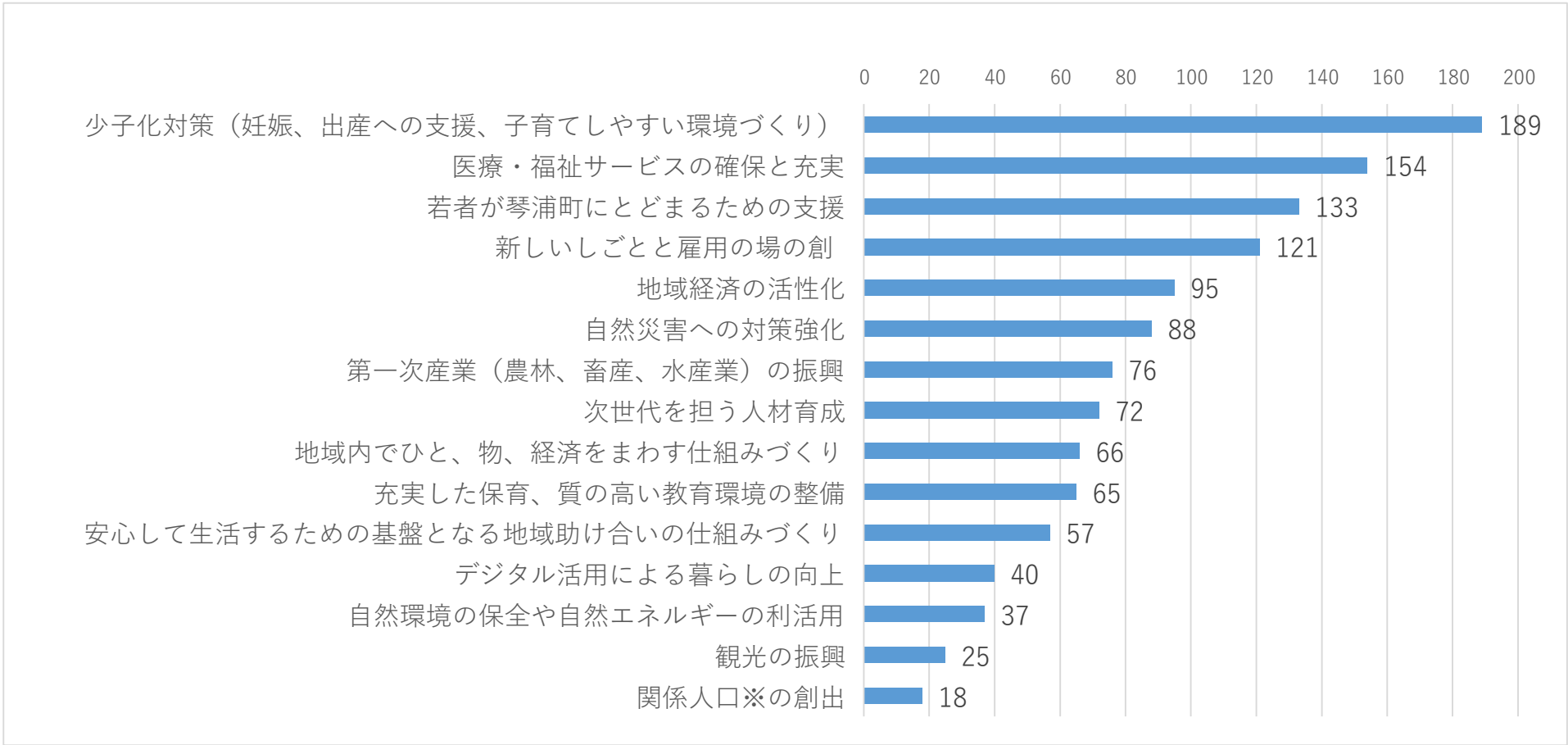
強みに選ばれた項目は、回答が多い順に「自然環境」、「生活環境」、「出産・子育ての環境」、「物価」、「医療・福祉」、「地域交流」、「教育環境」、「雇用機会」であった。

弱みに選ばれた項目は、回答が多い順に、「雇用機会」、「生活環境」、「医療・福祉」、「出産・子育ての環境」、「地域交流」・「教育環境」、「物価」、「自然環境」であった。

「生活環境」は強みと弱みどちらにも選ばれており、住民によって捉え方や感じ方が異なると推測。一方で、「自然環境」は強みの回答数が最多で、弱みの回答数が最少であった。反対に、「雇用機会」は弱みの回答数が最多で、強みの回答数が最少であったため、特に今後の課題とされる。

また自由記述欄には、項目にない内容として、強みに「地域の交流」「ゆったりとした田舎らしさ」「空き家が多い」との回答があった。一方で弱みには「交通の利便性が低い」「居住地（土地や賃貸物件）の選択肢が少ない」「町の取り組み、制度、魅力の発信が不十分」「子どもと遊べる遊具のある場所が少ない」「考えが閉鎖的」といった意見があった。

10 琴浦町が重点的に取り組むべきことは何ですか？



※項目から3つ選択する質問。

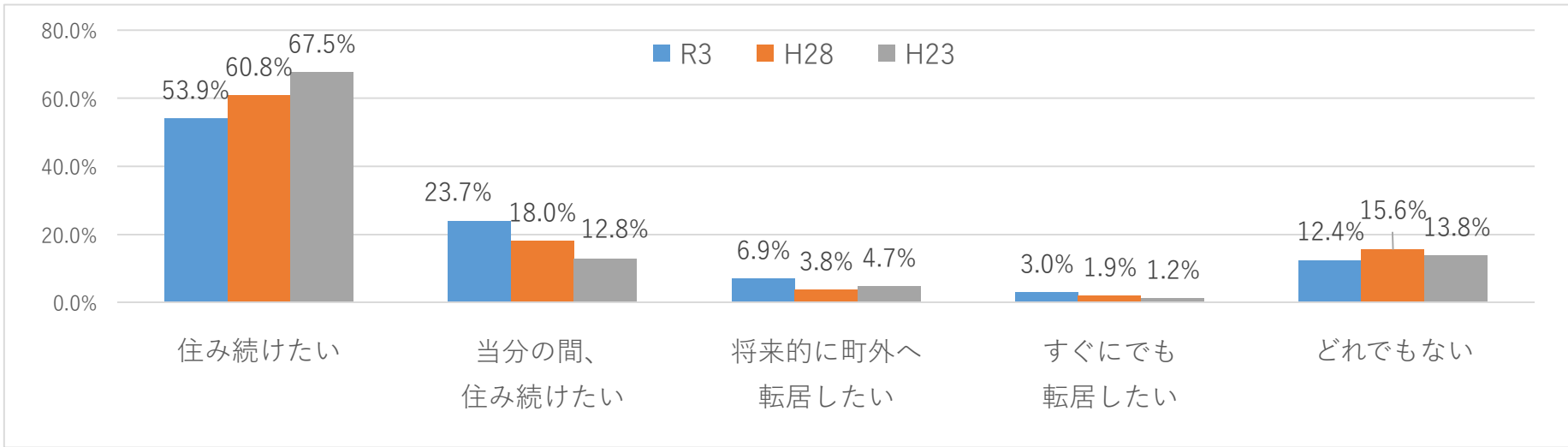
最も回答が多かったのは「少子化対策」で、回答者の42%が選んでいる。一方で、「関係人口の創出」は回答者が18人で最も少ない。

1.1 琴浦町の住み心地

☆ 3.07

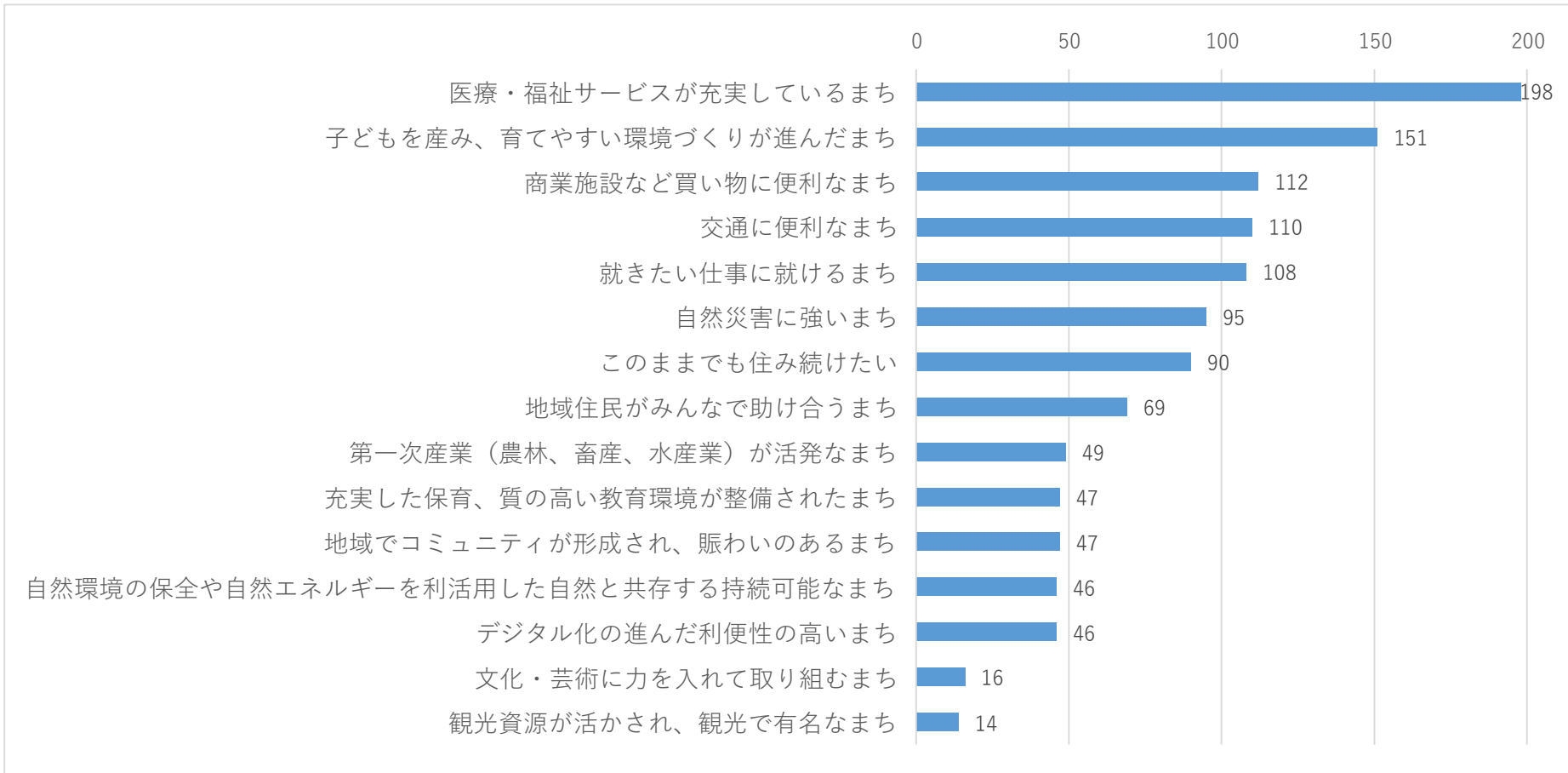
「現在の琴浦町の住み心地は☆いくつですか？」の質問に対して、回答者の平均値は3.07だった。1が最も低く、5が最も高いため、全体の結果をみると「普通」に値する。

1.2 今後も琴浦町に住みたいですか？



今回の結果を見ると、「住み続けたい」が53.9%と回答者の半数を占め、次いで「当分の間、住み続けたい」が23.7%であった。しかし、過去2回分（H23,H28）のアンケート結果と比較すると、「住み続けたい」の回答が10年前から5年おきに7%ずつ減少している。一方で「すぐにでも転居したい」割合は微増、「将来的に町外へ転居したい」の回答は5年前に減少したものの今回は3.1%増加し、10年前よりも回答率がさらに増えた結果となった。

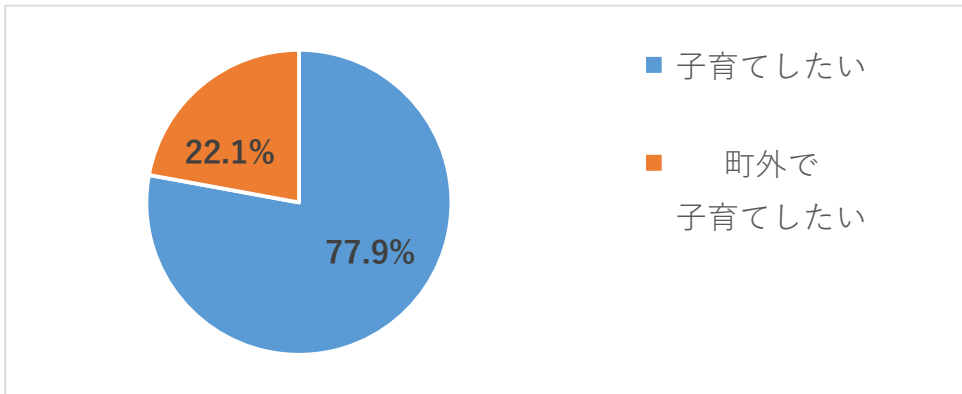
1.3 琴浦町がどのような町になれば住みたいですか？



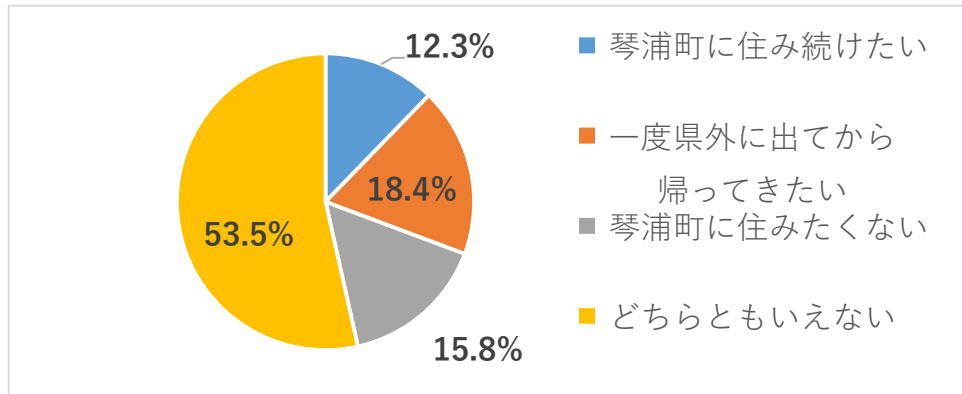
※項目から3つ選択する質問。

最も件数が多かったのは「医療・福祉サービスが充実しているまち」で、44%の回答者が選んでいる。次いで「子どもを産み、育てやすい環境づくりが進んだまち」が選ばれている。一方で、住みたいまちの要素として特に回答数が少なかった項目が「文化・芸術に力を入れて取り組むまち」と「観光資源が活かされ、観光で有名なまち」だった。

14 <今後子育ての予定がある方へ>
琴浦町で子育てをしたいですか？



15 <中学生以上のお子さんやお孫さんがいる方へ>
その学生さんは将来琴浦町に住みたいと言っていますか？



※今後子育ての予定がある方へ向けた質問

回答者数：97人

(子育てをしたい理由)

- ・ 保育料や手当が充実している
- ・ 子育て支援が充実している
- ・ 保育園の数や保育士の人数が十分で保育体制が整っている
- ・ 地域コミュニティから情報をもらえるので安心
- ・ 実家があるので安心
- ・ 自然が豊かで、子どもがのびのびと成長できる環境がある
- ・ 田舎で、落ち着いて子育てができる

(町外で子育てをしたい理由)

- ・ 保育料が高い
- ・ 小児科や大きな病院がない
- ・ お店等が少なく買い物が不便
- ・ 進学先が少ない
- ・ 子どもの通学環境が悪い
- ・ 人口が少なく、人間関係が狭くなる
- ・ 田舎独特の干渉やしがらみ
- ・ 教育面が不満

※中学生以上のお子さんやお孫さんがいる方へ向けた質問

回答者数：114人

(琴浦町に住み続けたい理由)

- ・ 琴浦町が好き
- ・ 町外に住んでみたが、地元がいいと実感した
- ・ 家を継ぐ

(一度県外に出てから帰ってきたい理由)

- ・ 一人暮らしを経験したい
- ・ 進学は県外を選択
- ・ 他市や県外で新しい知識を学んだり、様々な経験をつみたい
- ・ なじみのある土地でこの土地のために働きたい

(琴浦町に住みたくない)

- ・ 希望する仕事がない
- ・ お店が少なく住みにくい、娯楽がない

(どちらともいえない)

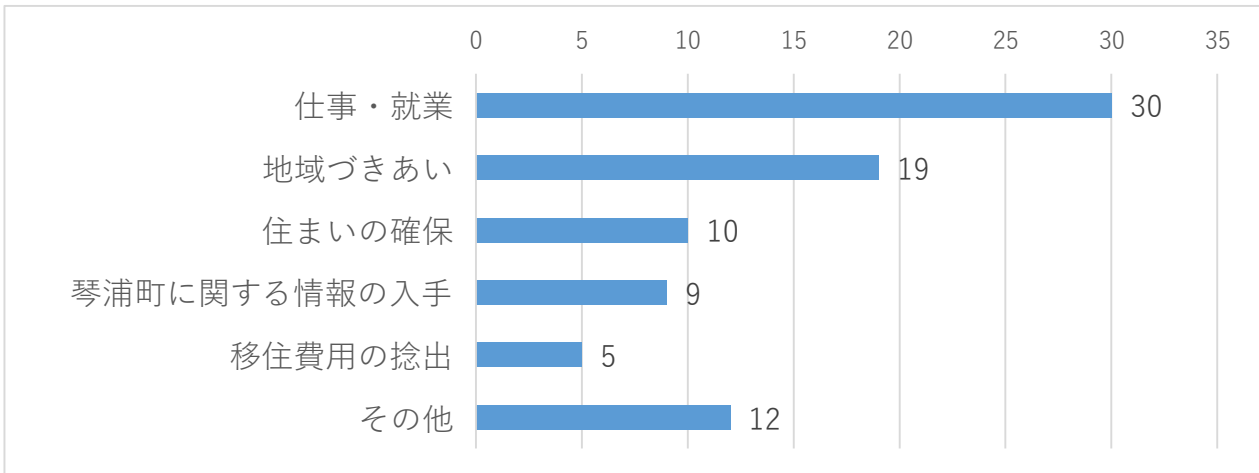
- ・ まだ将来について決めていない
- ・ 就きたい仕事がない、働く場所が限られる
- ・ 琴浦町は好きだけど、仕事次第で町外へ出ることもある
- ・ 琴浦町に不満もあるが、いいところもある
- ・ 琴浦町に興味が無い

16 10年後に琴浦町がどのように変わっていただきたいと思いますか。

自由記述（以下、意見のまとめ）

- ・経済の発展(企業の誘致)
- ・各種住民支援の充実
- ・雇用の確保
- ・子どもが暮らして楽しい町・安全な町
- ・観光産業の発展
- ・情報収集がしやすく町民の意見が反映される
- ・男女共同参画社会
- ・住民第一の町
- ・人口の増加
- ・医療・福祉の充実
- ・商業施設の活性化
- ・国際的な町
- ・少子化対策（結婚、子育てのしやすい環境づくり）
- ・自然が豊かな町
- ・AIなど先進的な産業の導入
- ・障害者に優しい町
- ・防災・防犯において安全な町
- ・山間部の利便性向上、交通の確保
- ・若者も高齢者も、活躍できる場の創出
- ・防犯対策（外灯の設置など）
- ・自然環境の保全
- ・他世代の交流促進
- ・住民同士が助け合う町
- ・自然エネルギーが活用されている
- ・文化振興
- ・住民と関係人口の交流が活発になっている
- ・デジタル化が進んだまち
- ・空き家問題の解消
- ・地場産業の振興

17 < I J U ターンされた方へ > I J U ターンの際に苦勞したことは何ですか？



最も苦勞した項目は「仕事・就業」だった。その他の意見として以下の回答があった。

- ・環境の変化（不便さ）
- ・付近に店がなく、車がないと不便
- ・免許取得と車の購入
- ・役場職員

18 < I J U ターンされた方へ > 琴浦町にあるといいなと思うもの・こと

- 自由記述（以下、意見まとめ）
- ・WIFI環境
 - ・街灯
 - ・通勤手段（公共交通）
 - ・仕事、（大手）企業
 - ・娯楽施設、商業施設
 - ・習い事教室
 - ・公園、スポーツ施設
 - ・キャンプ場
 - ・病院（小児科、眼科）
 - ・育児・衣食住のための金銭的補助
 - ・飲食店、居酒屋
 - ・温泉
 - ・コンサート会場など文化施設
 - ・放課後の子どもの居場所
 - ・観光地の整備
 - ・プール

19 < I J U ターンされた方へ > 琴浦町が活かすべきもの・こと（資源）

- 自由記述（以下、意見まとめ）
- ・第一次産業
 - ・畜産（肉、牛乳、加工品）・農産品（野菜、梨）
 - ・食（海の幸、グルメ）
 - ・自然（海、船上山、山林など）
 - ・公園
 - ・総合公園の芝生、総合体育館
 - ・空き家、放置された農地、土地
 - ・ゴミの管理が行き届いているところ
 - ・観光資源
 - ・割引商品券
 - ・育児の制度充実などの情報発信
 - ・学校のエアコン、ICT環境、コロナワクチンの対応など
- 新しいことに躊躇しない町の姿勢